

平成 23 年 10 月 17 日発売の某週刊誌の 記事に対する見解について

平成 23 年 10 月 17 日発売の週刊 A 誌に、国立がん研究センター東病院における臨床検査の体制に関する記事が掲載された。その記事の内容に対する見解を述べる。

当該記事は、国立がん研究センター東病院において、検査の基準値を過去に誤って使っていたとするものであり、この件に関しては、調査委員会を設置し現在調査中であることを、平成 23 年 9 月 28 日に発表し、ホームページにも掲載しているところである。

現在、調査中であることを公表している件について、調査を実施している段階で、一方的な主張を取り上げて記事としていることは大変遺憾である。

また、基準値に関する誤りの修正は過去に完了しており、現在は問題がない状態となっているが、現在もまだ問題が続いているかのように思わせる記載があり、国民や患者の方々に対し誤解を与え、当センターの業務上の妨害にあたるものなのではないかと考える。

当センターでは、独立行政法人化後、積極的に情報公開に努めているところであり、事実、記者発表やホームページを通じて情報公開を進めている。今回の件を含め、公表すべき事物については今後も公表を進めていくことを申し添える。

平成 23 年 10 月 17 日

国立がん研究センター理事長 嘉山 孝正